

二中プライド

大丈夫 自分を信じよう

小平第二中学校便り12月号
令和4年12月2日発行
小平市立小平第二中学校
文責 校長 吉田 功

学校公式
ホームページ



耳目

先日、地域の方から感謝の電話がありました。高齢の男性Aさんは、通院するため、駅に向かっていました。ちょっと急いだとき、転んでしまいました。頭を守ろうと両手両膝をついたのですが、痛くて動くことができません。その時、通学途中だった二中の女子生徒3人がすぐに助けてくれました。ちゃんとお礼を言おうと思ったが、通学途中ということもあり、すぐにその場から立ち去ってしまいました。その後、制服から助けてくれた生徒が二中の生徒だとわかったので、「ありがとう」と伝えてほしいと言っていました。通学途中で困っている人を見て、すぐに行動できるさりげない姿が本当に素晴らしいと思いました。

【副校長 西 伸一郎】

今晚、巨大な地震が起きたら

校長 吉田 功

師走になりました。年末年始に向け、慌ただしくなりそうです。こうした中でコロナウイルス感染症「第8波」の広まりも心配です。

さて、最近、ちょっとした地震が多いと感じています。災害はないにこしたことはないのですが、いざという時の備えをしておくことで被害を最小限に抑えることができます。先月の学校だよりでも紹介したように、現在、本校では避難所開設準備委員会を立ち上げ、月に1回のペースで話し合いをしています。もし、今月の深夜、天候は雨の状況で巨大な地震が起きた場合、どうなるのでしょうか。

巨大な地震が起きると、まずは自分の身の安全を確保し、家族の安否を確認しなければなりません。もしかしら家屋やブロック塀の倒壊、火災などが起きているかもしれません。その確認が済んだ後、二中の近くに住んでいる小平市の職員は緊急初動要員として学校に集合します。学校に到着すると校舎周りの安全を確認し鍵を開け、職員室内にある防災無線で無線局を開局します。そこで、市役所に設置される本部に被害状況を報告します。その作業を停電で真っ暗な中、懐中電灯などの明かりを頼りに行います。

そうこうしている内に避難者の方が学校に来られるかもしれません。雨のため、傘を差しながら、あるいはカッパを着て来られるでしょう。しかし、すぐに避難場所である体育館や校舎内には入ることができません。なぜならば、施設の安全点検や応急危険度の判定が終わっていないからです。そうすると、雨が降る寒い中で自転車駐輪場や玄関の軒下で過ごすようになります。人数が多ければ、いきなり校庭で待機ということになるでしょう。

発災した場合、学校の職員（管理職）も学校に集まらなければなりません。私は、10月の下旬、自宅から学校まで歩いてみました。晴天の日曜日の午前中でしたので、7.5キロの道のりを1時間30分で来られました。しかし、深夜で雨が降り、場合によっては電柱が倒れているとかすれば、少なくとも2時間以上はかかると思います。

ここまで書くと、本当に発災したらどうなってしまうのだろうという不安な気持ちがわいてきます。現在、今月の避難所開設準備委員会に向け、どのように避難所を開設していくのか、その流れについての資料を作成しています。実際に体育館や校舎内に避難できるのはもっと後の時間になりそうです。ましてや避難物資の到着はさらに後になるでしょう。

このような災害が起こると、どうしても私たちは、誰かがやってくれると考えがちです。しかし、それではどうにもなりません。自分たちでやるという決意が必要です。私は、先月の地震による避難訓練の時、生徒たちに避難所が開設された場合には大人から守ってもらうだけでなく、その一員として力を発揮してほしいという話をしました。

災害はいつ起こってもおかしくありません。今月はクリスマスや年末年始の楽しい予定があると思いますが、こうした中でもぜひ、災害についてご家族でも考えてみてほしいと思います。

G組 宿泊学習を終えて

G組主任 高寺 徹

G組は、11月1日（火）、2日（水）の1泊2日で『宿泊学習』という宿泊行事を実施してきました。今年度の目的地は「山梨県富士五湖周辺」で、リニア見学センター、河口湖、クニマス展示館、西湖蝙蝠（こうもり）穴、なるさわ富士山博物館、富士湧水の里水族館、忍野八海、ふじさんミュージアムを見学し、2日間にしては盛り沢山でしたが、生徒たちは満足した様子でした。

11月の総合的な学習の時間で、宿泊学習の事後学習ポスターをクラス（G組）で1枚作成しました。一人一人がchromebookを使って見学地の写真に説明文を付けて、1泊2日の宿泊学習で学んできたことを伝えられるようにしました。ポスターは1月の校内作品展（学校公開日）でG1教室の廊下に掲示しておく予定です。ぜひご覧ください。

また、行事後の生徒アンケートでは、「見学先、行程等を調べて見通しをもって参加できた。」「みんなと協力して学習や行動できた。」「係の仕事や自分の役割を最後までしっかりできた。」「宿舎や施設・交通機関などのルールを守り、楽しく活動できた。」「身のまわりのことを自分でできた。」といった事前指導で目標に掲げていたいずれの項目も、「とてもそう思う」「そう思う」が全体の8割以上を占める結果となりました。

今回の宿泊学習で学んだことをこれからの学校生活、家庭生活にしっかりと生かしていってほしいと思います。



1年 校外学習の様子

1学年担任 吉高 詠美子

11月25日(金)、天気にも恵まれ、1学年は川越校外学習へ行きました。どの名所に行くのか、お昼はどこで何を食べるのか、時間配分はどうするのかなど、chromebookを活用して事前に自分たちでルートを作成しました。校外学習当日は、計画よりも早く名所を見終わってしまったら、博物館が閉館日で急きょルートを変更したりと予定どおりとはいかないこともあったようですが、しっかり自分たちで考えて行動することができました。普段の学校生活では経験できない1日の中で、大きな力が付いたと思います。菓子屋横丁で長い麩菓子を買ったり、川越氷川神社で鯛みくじを釣ったり、その土地ならではの魅力を感じながら川越の街を学習できた様子でした。

また、実行委員は約1か月前から動き始め、お小遣いの額やルールは1年生としてどのようなものが妥当かなど丁寧に話し合い、中学校生活初めての校外学習を成功させるために力を合わせて取り組むことができました。



2年 職業学習の様子

2学年副担任 加澤 大季

本年度も新型コロナウイルスの影響により2年生で実施する職場体験が実施することができず、職業学習という形で講師の先生方を呼び、講演やワークショップを行いました。

11月4日(金)の5、6時間目の授業では、IEEEという団体から大学生や大学院生、博士課程で研究されている方、実際に仕事をされている方と総勢13名の講師が8教室に分かれて自身の中学校生活や進路選択、専門分野の話をしてくださいました。生徒は自分の聞いてみたい講師の話を選び、話を聞き、質問をしました。

11月18日(金)の午前には、事業構想大学院大学から重藤さわ子准教授と(株)西武ホールディングスの今成瞬さんが講師として『地域と事業を考える』をテーマに地域と経済の関係や収益を得る仕組みなどについて話をしてくれました。後半では、ワークショップとして『地域が活性化するために鉄道会社ができること』について、生徒がグループでアイデアを考え、それについて今成さんがビジネスの視点から回答や解説などをしてくださいました。どのように地域と社会が回っているかを実感することができる機会となりました。

職場体験のように現場で働くことを経験はできませんでしたが、多くの人の進路や生き方、専門分野の話に触れ、実際にビジネスについて活発に話し合い、考えを深めることができた職業学習となりました。

ホームページより 11月の中学生の様子

グローバルコミュニケーション教室



11月4日(金)の5、6校時に、1年生はグローバルコミュニケーション教室を行いました。地元企業の方の講演ということもあり、しっかりと興味をもって講演を聴くことができていました。

期末テスト



11月10日(木)~14日(月)は期末テストでした。努力した成果は発揮できましたか。お疲れさまでした。

卒業アルバム写真撮影



3年生は、期末テスト後に卒業アルバム用の部活動写真の撮影を行いました。それぞれの部活動でポーズを考え撮影に臨んでいました。

面接についての学習

11月4日(金)の5、6校時、3年生は、面接についての学習を行いました。はじめにビデオを見て、良い面接、悪い面接について学び、冊子を用いてマナーについて再確認し、ロールプレイをしていました。いよいよ受験に向けた動きが本格化してきました。



花壇作り

11月15日(火)の放課後に学校支援ボランティアの協力を得て、冬から春を彩る花苗を学校花壇に植えていただきました。植えられた花は、春先まで私たちの目を楽しませてくれます。



2022関東中学生 新人テニス選手権大会

11月26日、27日に2020関東中学生新人テニス選手権大会が小金井公園庭球場で開催されました。本校からは、男子チームが出場し、第3位に入賞しました。おめでとうございます。

